

平成 28 年 8 月 29 日
消 防 庁

「住宅防火・防災キャンペーン」の実施

近年の住宅火災による死者数は1,000人前後の高い水準で推移しており、このうち65歳以上の高齢者が約7割を占めています。(別添参照)

高齢化の進展とともに、住宅火災による死者のうち高齢者の占める割合が増加していることから、消防庁では、「敬老の日に「火の用心」の贈り物」をキャッチフレーズに、高齢者に住宅用防災機器等をプレゼントすること等と呼びかける「住宅防火・防災キャンペーン」を実施します。

1 目的

火災を「起こさない」、「早く知る」、「早く消す」、「拡大防止」することで、高齢者を中心とした住宅火災による死者数の低減につなげる。

2 実施期間

平成28年9月1日(木)から平成28年9月21日(水)まで

3 推進項目

- (1) 住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具、防災品などの住宅用防災機器等を高齢者にプレゼントすることと呼びかける。
- (2) 高齢者宅に設置してある住宅用火災警報器の作動確認のほか、寝たばこやストーブ・ガスこんろの使用方法などへの注意喚起と呼びかける。
- (3) 上記の呼びかけを通じて、広く住宅防火・防災意識を啓発する。

4 その他

- (1) 本キャンペーンの趣旨に賛同し、ご協力頂いている団体、企業は別添のとおりです。
- (2) 協力団体である(一社)全国消防機器協会は、本キャンペーンに併せて、住宅用火災警報器(2000個)、住宅用消火器(500本)及び防災品(500セット)を高齢者世帯に無償で寄贈する社会貢献事業を行っており、寄贈予定の20地区のうち、北海道虻田郡洞爺湖町の洞爺湖町幼少年婦人防火委員会への贈呈式を下記のとおり実施します。

・日 時 平成28年9月12日(月) 9時30分から

・場 所 あぶたふれ合いセンター(北海道虻田郡洞爺湖町本町58番地3)

※ キャンペーンの概要については、消防庁のホームページにも掲載しています。

(http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/pdf/130726news.pdf)

<連絡先>

消防庁予防課予防係

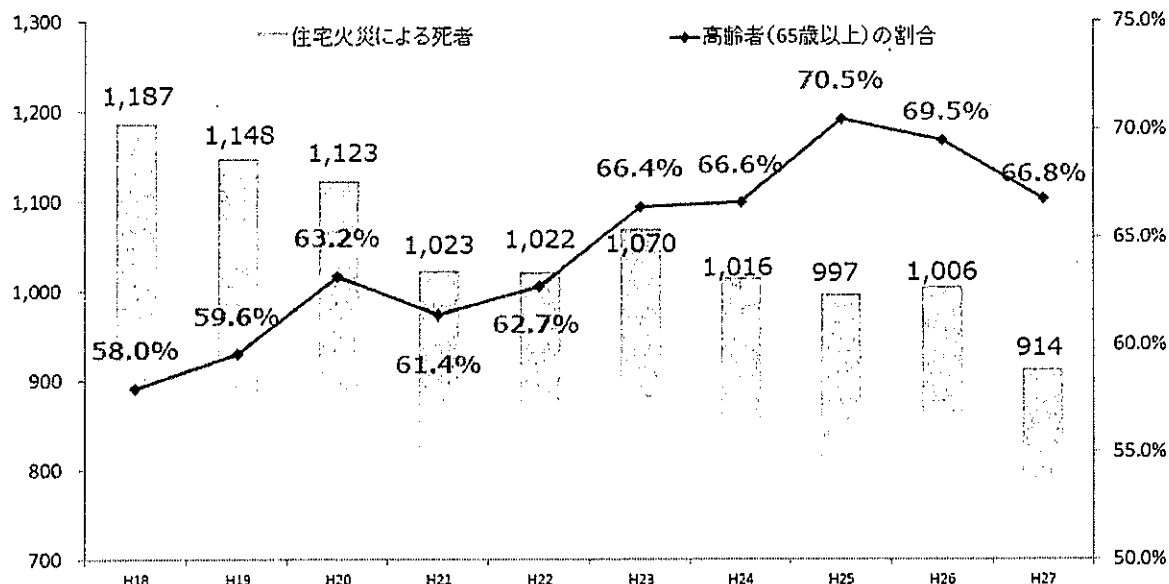
担当: 小富士、齋藤

電話 03-5253-7523(直通)

FAX 03-5253-7533

住宅火災における死者数の推移

(平成18年～平成27年の10年間)



キャンペーンの趣旨に賛同し、ご協力頂いている団体、企業一覧

○協力団体一覧

| | |
|--------------------------|------------------------|
| 一般財団法人日本福祉用品寄附センター(QTEC) | 一般財団法人日本防火・危機管理促進協会 |
| 一般社団法人全国消防機器協会 | 一般社団法人 日本介護支援専門員協会 |
| 一般社団法人日本たばこ協会 | 一般社団法人日本ドウ・イット・ユアセルフ協会 |
| 公益財団法人日本防災協会 | 公益社団法人日本通信販売協会 |
| 日本チェーンストア協会 | 日本百貨店協会 (五十音順) |

○協力企業一覧

| | |
|-----------------|-------------------|
| イオンリテール株式会社 | 株式会社イトーヨーカ堂 |
| 株式会社大塚家具 | 株式会社コメリ |
| 株式会社島忠 | 株式会社ジョイフル本田 (瑞穂店) |
| 株式会社そごう・西武 | 株式会社高島屋 (新宿店) |
| 株式会社ディノス・セシール | 株式会社ニッセン |
| 株式会社ニトリ | 株式会社ビックカメラ |
| 株式会社ユニリビング | コーナン商事株式会社 |
| DCMカーマ株式会社 | DCMサンワ株式会社 |
| DCMダイキ株式会社 | DCMホームック株式会社 |
| DCMホールディングス株式会社 | 東京地下鉄株式会社 (五十音順) |

下線は今年度からの協力企業

〔キャンペーンポスター〕

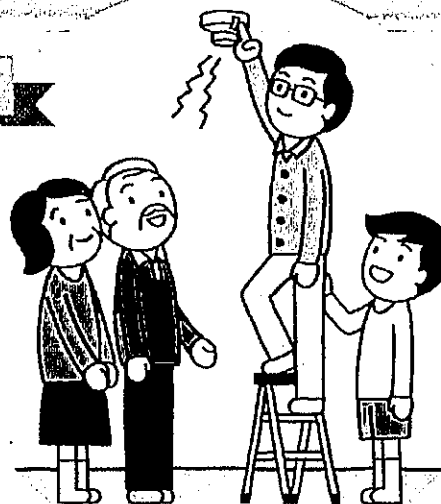


いざという時に備えて住宅用防災機器等(住宅用火災警報器・住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具・防災品など)を身近に備えましょう。

敬老の日に 「火の用心」の贈り物

すべての住宅に設置が必要な住宅用火災警報器。電池切れで万が一の時に作動しなかったということがないように、定期的に作動確認することが大切です。

住宅用火災警報器



身近な
防火・防災
プロジェクト

消防庁